

平成 22 年度 海外研修報告書

日本リハビリテーション医学会 国際委員会

委員長 志波 直人

海外研修担当委員 花山 耕三, 青木 隆明

平成 22 年度日本リハビリテーション医学会海外研修助成による研修が終了したので、下記の通り報告する。

〈通常助成〉*

竹内 直行 (北海道大学病院リハビリテーション科)

参加会議名：The 3 rd Pan Pacific Symposium on Stem Cells Research

開催地：台中, 台湾

参加期間：平成 22 年 4 月 16 日～19 日

発表演題名：Therapeutic application of repetitive transcranial magnetic stimulation in motor recovery after stroke.

発表の成果：反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) によって脳卒中後の運動麻痺を改善する治療法の成果を発表した。健側運動野へ抑制作用を持つ低頻度 rTMS を行う治療を進展させ、障害側運動野へ興奮性作用を持つ高頻度 rTMS を同時に行う両側 rTMS 法によって大きな麻痺の改善をもたらした研究成果を報告した。自身が発表した Neuroscience 部門で座長を行う貴重な経験もさせていただき、新しい分野である再生医療の中におけるリハビリテーションの重要性について、多くの研究者に興味を持っていただくことができた。

小金丸 聡子 (兵庫医科大学リハビリテーション医学教室)

参加会議名：1 st International Workshop on Synaptic Plasticity : from Bench to Bedside

開催地：Taormina, Italy

参加期間：平成 22 年 4 月 28 日～5 月 1 日

発表演題名：Emotion affects human motor cortical plasticity

発表の成果：今回、情動の影響によりヒト一次運動野の可塑性が変化するという発表を行った。興味深いとの意見が多かったが、実験パラダイムや評価方法についての異なる意見もあり、有意義な議論ができた。今後研究を進展させ、将来的にリハビリテーションの臨床現場への応用につなげるための有用な情報を得る事ができた。

水野 勝広 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

訪問研修施設：Institut national de la santé et de la recherche médicale

所在地：Lyon, France

訪問期間：平成 22 年 9 月 27 日～29 日

訪問研修の成果：Institut national de la santé et de la recherche médicale (国立衛生医学研究所) を訪問し、フランスにおけるリハビリテーション医学の臨床、研究について視察研修した。“Clinical impact of prism adaptation on stroke rehabilitation” の題名で講演も行った。

小川 真司（日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科）

参加会議名：第7回世界脳卒中会議

開催地：大韓民国ソウル特別市

参加期間：平成22年10月13日～16日

発表演題名：Electrophysiologic Evaluation of Insole Treatment for Chronic Stroke Patient

発表の成果：今回の会議では慢性期の脳卒中の管理に注目が集まっていた。本演題をもとに、世界各国のリハビリテーション科医師と、装具療法、痙縮治療について意見交換を行うことができた。

〈特別助成 **AOCPRM 2010**〉

栗原 由佳（東海大学医学部付属八王子病院リハビリテーション科）

発表演題名：The relationship among clinical, electrodiagnostic and ultrasonographic findings in ulnar neuropathy around the elbow

若林 秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

発表演題名：Malnutrition and rehabilitation outcome of disuse syndrome : a retrospective cohort study.

高田 薫子（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

発表演題名：Functional Outcome of Acute Phase Rehabilitation by GMFCS and Disease Pattern Classification for Pediatric Acute Encephalopathy Patients

*海外研修印象記はリハニュース 49号に掲載予定です。